20170430

問題解決とは？（ヨハネ19:30）

それぞれ人生を振り返ってみると、様々な問題とともに今に至っていると言えると思います。ある人は、経済的な問題で苦しんでいたこともあるし、親に虐待された経験のゆえに苦しみつつ辛い過去を歩いてきた人もいるでしょう。病気によってで、ときには生まれながらの障害を抱えたことによって悩みつつ人生を歩いてきた人もいるでしょう。また、人間関係の悩みのために、ひどい場合には、ひきこもってしまったり対人恐怖症にまでいってしまう場合もあります。そこまで行かなくても身近な人との関係がとてもうまくいかない、ときにはものすごく困ってしまうし、とてもデリケートな部分でもあります。そういったいろいろな問題、また、自分の意思とは全く関係なく災害によって予想だにしていないいろいろな悩み苦しみ、生活の困難などを経験する人もいます。今日はゴールデンウィークで家にしばらく戻ってきているのだと思いますが、彰仁も今、社会生活を始めたばかりで「どう？」と聞いたら、「毎日が忙しいです」と言う返事でした。社会に出てみると、学校や家での生活とは次元が全く違ういろいろな問題にぶつかるようになります。上司との関係、慣れない仕事、その中でもまたいじめられたり阻害されてしまったりねたまれたり、様々なことがあってそのような問題を抱えて社会生活をするようになるでしょう。そういったいろいろな問題の中で、そこを歩いてここまで来ました。そして、今現在もいろいろな問題を抱えてそれぞれ生きていると思います。といいますのは、これからも死ぬときまでずっとどんな問題かはわかりませんが、いろいろな問題にぶつかりあいながら歩いていくものではないでしょうか。

ある人がいました。人生と言うものは、問題との付き合いなのだと。そう言っても過言でないほど、私たちは問題の中を歩くものです。ですから、本当の意味で人生の勝利、人生の成功と言うものは、何が問題の解決なのか、どこに本当の問題の解決があるのか、これに対して正しい答えを持っていないと、結局、問題の中をさまよい続けるしかありません。迷路をさまようような状態がずっと続くようになるわけです。クリスチャンでも同じなのです。ただ幸いなのは、クリスチャンは何が本当の問題なのか、何が問題解決なのかにたいして、正解をわかるようになるものです。ただ残念ながら、それにもかかわらずクリスチャンの方々でも、何が問題解決なのかに対して、様々な勘違いと誤解と、また今まで通りの考え方を持って問題にそのまま溺れて縛られている方々が少なくないと思います。問題との付き合いですし避けることができないし、どんなに頑張っても、ときには自分の頑張りと努力と意志と関係なく迫ってくるものなのです。

今日は何が問題解決なのかについて聖書を通して明確に教えられたいと願います。大体、問題と共に歩むことが人生なので、正解がわかっていないと問題を解決するために頑張るわけです。あるいは、その問題の壁にぶつかって倒れてため息をしてがっかりするようになるしかありません。場合によっては、工夫して頑張ることによって病気が治る場合もあるし、人間関係が改善される場合もあります。それが問題の解決だと思うのです。クリスチャンの方々もそうです。次に問題が現れると、また問題との格闘になるしかありません。そして、そのようにならない場合は、またずっと問題を抱えてそこに溺れて次がなかなか見えないわけです。本当にがんばって改善されるとそれが問題解決でしょうか。私たちが問題だと思っている症状が治まると、それで問題解決と言うものなのでしょうか。クリスチャンはそのように思っていてはいけません。前にも申し上げましたように、私は結核を患ったことがあります。目に見えないところにその原因があるわけです。ただ症状としては、咳き込んだり熱が出るたりすることによって風邪に似た症状なのです。だから、風邪薬を処方したり咳止めみたいな薬を飲むことによって咳が止まることがあったり熱が下がたりすることがあります。しかし、それで問題解決でしょうか。それで本当に治ったことなのでしょうか。今まで私たちはそういう事しか知らないので、そういうことにポイントを置いて問題解決を考えていたわけです。残念ながらクリスチャンになってからも同じパターンなのです。本当は、クリスチャンはそこを卒業してその次の世界を歩いていかなければいけないものなのに、頭ではそれを聞いていても、実際は問題との付き合いに留まるしかないのです。神様がそれを望まれません。それは十字架が許しません。そういう意味で何が本当の問題解決なのかということを正しく理解していただきたいと思います。もう10年以上、何回も何回も繰り返し、いろいろな角度から皆さんに申し上げてきたつもりです。でも、このテーマは非常に大切なテーマなのです。

先週も申し上げましたように、結論から申し上げると、クリスチャンのみなさんは、どんな過去があろうが、今どんな状況に置かれてどんな問題を抱えていようが、これからどんな問題が皆さんに襲いかかって来るかはわかりませんけれども、それと一切関係なく、皆さんはこのように叫んで宣言することができる唯一の存在です。「私は幸せなものです。私はとっくに幸せなものであり、今も幸せであり、これからのち永遠に変わることなく幸せものなのだ」。そこがスタートです。それから、もう一つクリスチャンだけに許されている特権であり権利であり祝福があります。「私は何も問題がありません。私に何の問題もありません。私は幸せなもの、私は何も問題がありません」と言えるものはクリスチャンしかいません。それなのに皆さんの真心からそのように告白している様子を見たことがありません。本当なのです。そうすることによって幸せを求めて幸せになるために生きる人生を卒業して、他人の幸せのために生きるようになるし、問題対決に悩む人生に終止符を打って、他人の問題を解決するための人生を生きる存在がクリスチャンなのです。それなのに目の前にある問題、特に過去にあった問題もいまだにそのまま抱えて問題の中に溺れてアップアップしています。それは問題があるからではなくて何が問題解決なのかが正しく理解できていないからです。そのためにまず私たちが正しく理解しなければいけないのは、何が本当の問題なのかと言うことです。それは聖書の他には教えていません。言葉を変えますと、問題の根源、問題の根本は一体何なのか。そこからアプローチしないと問題解決に対して正しい正解が得られません。様々な問題を先ほども申し上げました。今もいろいろな問題を抱えているでしょう。お医者さんも理解できない問題で悩んでいる人もいます。誰に行ってもどこに行っても、気持ちはあるのですが無理ですよと言う不可能な問題を抱えている瀬戸で悩んでいる人も少なくありません。しかし、それが問題でしょうか。「気持ちはあるのですが無理ですよ」と言われ、不可能な問題を抱えて悩んでいる人も少なくありません。しかし、それが問題でしょうか。何かが聞こえてくることが問題でしょうか。癌が問題なのでしょうか。家庭内DVが問題なのでしょうか。それが問題ではないと言うつもりはありません。でも、本当の問題、問題の根源はちがうのです。今まで誰も教えてくれないし知ることもできなかったのですが、神様が聖書を通して私たち人類に向けておっしゃっています。本当の問題は、実は創造主、唯一のまことの神様がいらっしゃるのですが、人はその神によって作られたものであり、神とともに歩む存在なのですが、人がその神を裏切り神様を離れて神を失ってしまった。それが本当の問題なのです。癌が問題ではなくて、本当の問題は、人間が神様から離れてしまったとことが問題なのです。そこからすべての問題が生まれることになりました。神様とともに歩んでいるときには、今私たちが問題、問題と悩んでいるそういった問題は一切ありませんでした。人は幸いなものとして作られて、人は祝福されたものなのです。神は人を祝福されたと明確に書かれています。それなのに、人が神を離れて、神に背いて、それからは全く神様を知ることも感じることも見ることも悟ることもできない魂が死んだままの状態になってしまいました。そこが問題なのです。何かが聞こえてくるのが問題ではなくて、神から離れてしまったことが、神様を知らないことが問題なのです。それは何を意味するのかといいますと、皆さんは認めたくないでしょうけれども、神を離れたというのは残念ながら、あなたがたはあなたがたの父である悪魔から出たものであると言われている通り、目に見えない悪魔、サタンと言うものに人生そのものが丸ごと乗っ取られて、支配下に入るようになりました。それが神を離れたと言うことなのです。旦那さんが問題ではなくて、神を離れてしまったことが問題です。神を離れたということは、裏返しますと、悪魔、サタンと言うものに、私たちの意志とは関係なく、人生そのものが丸ごと支配されることになったのです。いいことがあるはずがありません。それが本当の問題なのです。癌を治そうとするのは十分わかるのですが、それで問題解決になるわけではありません。この悪魔の支配下から自由にならなければいけません。親が問題ではありません。

その結果、残念ながら人は神から離れて悪魔の支配下に置かれるようになりました。自分の意志とは関係なく、認めたくないでしょうし、世の中ではこのような事は誰も教えてくれないし、逆の教えしかないそのような人生を歩いてきたのでなかなか難しいでしょうけれどもこれは真実なのです。人間と言うものは、生まれながら神の御怒りを受けるべき子らとして生まれるのです。生まれた時から希望はありません。それを滅びる運命といいます。残念ながら、それが本当の問題なのです。ですから、そのまま何の解決もないまま人生が終わり、死んでしまうと人間と言うものは、一度死ぬことと死後にはさばきを受けることが定まっています。そうなるしかないものです。そのような運命にとらわれて生まれて生きていく存在です。そこが本当の問題です。まるで咳き込んでいても目に見えない肺のほうに原因があったように。自分の話を何回も申し上げまして申し訳ないのですが、私も家庭内にいろんな問題があり、母親が早く死んで疎外感などを抱えて様々な症状がありました。母親が早く死んだのが問題だと思っていたわけです。ずっとそれにとらわれるしかありません。死んだ母親が生き返ってくるわけでもないし、たとえ生き返ってきたとしても自分の人生の問題が解決になるわけではありません。私は神様を知りませんでした。神様を無視して排除していて、問題が何なのか、解決は何なのか、そういううんぬんばっかりだったのです。それは本当にあてになるものなのでしょうか。自分の人生もどんどん溺れていくようになりました。暴れれば暴れるほどどんどん溺れるわけなのです。本当のことがわかっていないので。それが私たちが問題だと思っていた全ての問題に対しての本当の問題です。これは時代を超えて、国や民族などを超えて共通です。

これが何を意味するかといいますと、本当の問題はそんなところにあるのであれば、私たちの問題は自分で解決することはできないのです。解決不可能なのです。それがわかっていないまま問題を解決しようとしたり、あるいは壁にぶつかって絶望したり、その繰り返しなのです。文明が進歩すれば良くなるでしょうか。文明が進歩することによって変わるような問題ではありません。本当の問題がわかれば。誰かのせいにしたり何かのせいにしたりすることは、それ自体が精神的な問題の発端なのです。よくわかっていないから。きっかけに過ぎないものなのです。本当は解決不可能なのです。自分の問題が、自分の人生の問題が解決不可能なのだと言うことを認めて、それが納得できた時から、本当の問題の解決が始まります。私たちには解決が不可能なので、本当は解決できません。絶望なのです。ですから、答えは1つしかありません。創造主の神様が代わりに私の問題を解決して下さること以外には方法がありません。もしも神様が動かなければ絶望なままなのです。よく覚えておいてください。解決できる唯一の方、神様ご自身が私たちの代わりに解決することが解決の方法なのです。地球の様々な宗教、いろいろな学問や持論、様々な団体がありますが、どこにもこんな話はありません。聖書だけです。神様が代わりに。どんな宗教どんな団体に行っても立派な話はあるのですが、全てががんばりなさい、直せば良いのではないか、瞑想しなさい等のことなのです。解決不可能だと言うことを知らずに、解決するかのように思わせてどんどん深いところに持っていくわけです。最後は取り返しのつかないところまで行ってしまうのです。カインはアベルを殺してしまいました。自分の頑張りによって。人間、人生とはそんなものではありません。解決不可能なのです。

だから、問題のために悩んでいらっしゃる方々は、まずお勧めします。絶望して諦めてください。すべて疲れて重荷を負っているものはそうなるしかありません。諦めてください。創造主の神様が代わりに解決してくださることが、本当の問題解決なのです。幸いなことに、神様が罪人である私たち人間を愛して、代わりに解決すると約束されました。最初に神様は私たちに向かって、「お前はそれでいいのか。それを直しなさい。こうしなさい」とおっしゃったことはありません。私たちには不可能だと言うことを一番よくご存知なので、神様は一番最初から、わたしが代わりに解決するからとおっしゃいました。だから、それを福音、良い知らせ、グッドニュース、ゴスペルと言うわけです。神様が約束されました。代わりに。その代わりに解決する方法が何かと言うと、罪のない神の御子、神様ご自身であるキリストを送って、あなた方の代わりにそのキリストがあなた方の全ての問題、罪、すべての滅びの運命を代わりに背負って、代わりに罰せられることによってあなた方の問題を神様ご自身が解決すると約束されました。その方法がキリストなのです。キリストの他にはそれができません。約束通りに、キリストが世に来られました。その日をクリスマスといいます。その方が十字架で死なれて、3日目に本当にすべての問題を解決したという証拠として死の力を打ち破って復活なさったイエス様、イエス様が、そのキリストなのです。イエス様が皆さんの全ての罪を、悩んでいる全ての悩み、問題、苦しみ、それを代わりにイエス様が全部背負いました。その他には方法がなかったのです。ぜひ覚えてください。代わりに解決してくださいました。それを聖書は、贖いといいます。身代わりとなるということです。今まで生まれたときから、罪の本性をもってサタンの教えに慣れているので、サタンの教えの特徴である、「そういうことはあり得ません。お前のせいだ。お前が頑張らないと」ということばかりなので、聖書の教える「代わりに」、「贖い」という言葉が私たちの耳から遠く聞こえるかもしれません。でも、それが真実なのです。まず、絶望して諦めてください。神様が代わりになさること、そこだけに希望があるのです。イエス・キリストが私たちの代わりに十字架で死なれました。私たちがまだ罪人であったときに、イエス・キリストが十字架で死なれることによって、私たちに対する神様ご自身の愛を明らかに示しておられます。ずっと前からそういうことが預言されていました。女の子孫が生まれて、蛇の頭を踏み砕くと。キリストがこられたときに神様は私たちの全ての罪を彼に負わせると預言してらっしゃいます。私たちに与えられるべきさばき、罰と言うものが、全部キリストの方に負わせたので、キリストの方に全部注がれる、十字架の死です。そのようにして神様は私たちの問題を解決されました。十字架は私たちの問題を代わりに解決されるところなのです。

そして、イエス様は十字架の上で、最後に息を引き取られる直前に宣言されました。すべてを完了したと。どういう意味なんでしょうか。すべての問題を解決すると、代わりに解決すると約束したそれを完璧に完了して全うしました。その証拠として3日目によみがえられました。死がとらえることができないのです。問題があるから、罪があるから、死がその力を振るうわけなのですが、それを完璧にクリアできたので、死が解き放つしかありません。それが復活です。復活によってそれが明確に証明されました。それが私たちの問題の解決なのです。皆さんにあるわけではありません。どこか、誰かがやってくれるわけでもありません。政府が社会が学校がやってくれるものでもありません。神様がイエス・キリストを通して代わりに罰せられ、代わりにのろわれて、代わりにさばかれて、すべての問題を解決しました。そうならば、私たちにとって問題の解決は何でしょうか。今までは解決するために、症状をなくすために、どうにか頑張るか、あるいはそれができないから、そこにひざまずいてため息するしかなかったのですが、そうい事は外側のことです。問題の解決と言うものは、代わりに解決されたので、それをそのまま受け入れることだけなのです。それを信仰と言います。義人は信仰によって生きる。本当にイエス・キリストが私にはできない死の問題、私の人生の全ての問題、過去、現在、これから未来の問題まで代わりに全てを解決しました。本当は絶望なのに。それを信じることです。本当の問題の解決とは、イエス・キリストが代わりに解決したと言うことを信じることです。ですから、問題が問題ではなくて、信じないことが問題なのです。キリスト教は宗教ではありません。義人は信仰によって生きる。神は、実にひとり子をお与えになったほどに世を愛されてた。それは御子を信じるものが滅びることなく永遠のいのちを持つためであり、まことにまことにあなたがたに告げます。わたしの言葉を聞いて、わたしを遣わした方を信じるものは、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことなく、死からいのちに移っているのです。誰でもイエスの御名を呼ぶものは救われる。何も要求せずに代わりに死なれて、代わりに問題を解決されたイエス様を信じることです。信じる方法も、受け入れた人々、すなわちその名を信じた人々は、神の子どもとなり特権が与えられる。そのイエス・キリストがよみがえられて、今も生きていらっしゃるので、目に見えないだけであって、そのイエス・キリストがこのお話をもって、あなたの問題を「今までご苦労だったね。疲れて重荷を負ってできないことをよくもここまで頑張ってきたのだね。もういいよ。私があなたの問題を十字架で解決したのだよ。私を受け入れなさい」というその声をもって、皆さんの心のドアを叩く時に、心を開いてイエス様を救い主として心に信じて受け入れることなのです。喉が渇いているときに、あの水を飲めばすっきりするだろう。それは、「だろう」なのです。それを直接喉に押し込むことによって自分のものになるわけです。イエス・キリストを信じること、ただ信じることだけです。今何かの問題があるとしても、何かの症状が残っているとしても、騙されないでください。惑わされないでください。イエス・キリストを信じて受け入れた人々であれば、すべての問題は解決しました。完了しました。もはや問題ではありません。死の影の谷を歩くことがあっても、問題ではありません。

パウロが言いました。このことがわかっていたパウロは、刑務所の中で、刑務所の中にいるから外にいるから、私には問題ではありません。お腹が満腹なのか、お腹が空いているのか、人に認められるか、認められないか、それは私に問題ではありません。私を強くしてくださる方によって、できないことは何もない。私には何も問題はありません。初代教会の人々が、迫害の中で本当に何もできなさそうな人ばかり集まっていたときに、イエス様に心配で聞きました。今ローマの植民地なのですが、どうなるのでしょうかと。イエス様はおっしゃいました。イエス・キリストを受け入れた人であれば、それも問題ではない。それはあなたがたは知らなくてもいい。迫害があろうがなかろうが問題ではない。なぜならイエスキリストを受け入れた瞬間、死と罪の原理から解放され、永遠のいのちを持ち、神がいつまでもともにおられ、すべてのことを働かせて益となる、神の導きと神の御手の中に生きるようになるわけですから。だから、問題の解決はイエス・キリストの信じることなのです。代わりになさったのです。

前にもお話ししましたように、たとえば私に500兆円ぐらいの借金であるとしましょう。500兆円がいくらかわかりませんけれども。私が一生、一睡もせずに、例えば生きられるとして、飲まず食わずに何も買わずにショッピングもせずに全部貯めて返済しようとしても、一生かかっても無理です。でも、借金はそのままで重荷を背負って歩くしかありません。苦しんでも、どうにかしなければいけないのです。それがずっと続くのです。やってもやっても岩に生卵をぶつけるようなことになるしかありません。でも、それしかないのでやるしかありません。やればやるほど肩にダメージを受けるだけで、あちこち壊れるだけです。人生があちこち壊れるだけです。その時に500兆円の100倍、1000倍の財産を持っている方が私のことを愛して、私が知らないうちに債権者のところに行って、「私が代わりに全部返済するから」と言うなら、向こうはもらわない理由がないでしょう。それでポンと現金で全部返済して、チャラになったという領収証を貰いました。私には不可能なのですが、それでも解決の方法が、代わりにと言う方法があるわけなのです。全く一緒ではないですけれども理解のために申し上げました。でも、終わったのに私はその知らせを聞くまではわかりません。ずっと借金の重荷を負って歩くしかありません。ある日、その方が訪ねて来られて、「今まで苦労だったな。どんなに頑張ってもダメなのだよ。全部あきらめなさい」とおっしゃいます。それを悔い改めるといいます。私が代わりに全部解決したのだから。本当はその時点でもう終わりなのですが、そのお知らせをしました。領収書を見せるわけです。そうすると、その借金地獄の問題を解決する方法は何でしょうか。今までの全ての全部諦めて、あるいはそのすべてから自由にならなければいけません。関係ありません。今までやっていたことは、やる必要もないし、やってはいけません。ただ1つだけですそれをそのまま信じて受け入れることだけです。その瞬間、私は自由になります。借金の重荷、借金地獄、その苦しみ等はさようならです。クリスチャンはそのような存在なのに、本当はさようならしたはずなのに、脳細胞の中から、気持ち心からさようならしていないのです。なぜなら何が本当の問題解決なのかが明確に理解できていないからです。今日のメッセージを通して、全てを完了したと宣言されました。十字架の上でのイエス様、その方をいま万軍の主として天の御座に座って、私たちとともに歩いていらっしゃいます。ですから、皆さんがイエス・キリストを受け入れた瞬間、代わりにすべての問題を解決してくださいましたキリストとして信じて受け入れた瞬間、皆さんの問題は実は終わったはずなのです。今ある問題はどうすれば良いのでしょうか。もはや問題でもないし、そこでも解決は、イエスがキリストだ、イエスが全てを完了したと言うことを信じ続けることなのです。そうすると、問題が問題ではなくて、別のものに見えてくるはずなのです。これから問題解決のために工夫したり絶望したりせずに、信じてください。問題の解決は、代わりなのです。贖いです。聖書の他には、その法則はありません。世の中はサタンが作り上げた人間中心の神を無視したヒューマニズムが全てなので、このような信仰などをものすごく嫌います。人が本当に幸せになり、本当にすべての問題から自由になることをサタンは望みません。サタンの願いは私たちが滅びることなのです。神は、実にそのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じるものが、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためなのだ。

冒頭で申し上げましたように、皆さんイエス・キリストを信じて受け入れていただきたいと思います。それが問題解決なのです。症状がなくなるかどうかではありません。問題解決は信仰にあるのです。イエス・キリストが問題の解決です。だから、喜びの知らせなのです。そして、イエス・キリストを信じて受け入れた方々は、確信を持って大胆に毎日、毎場面で宣言してください。これは戦いなのです。何をででしょうか。「私は幸いなものなのだ。私は何も問題がありません。私には何の問題もありません」。ここがスタートなのです。これがキリスト教のスタートなのです。信じられないのでしょうか。ぜひ残りの生涯、スタートを切り替えて、本当に人の幸せのために、自分は問題が終わったので人の問題の解決のためにスタートを切りましょう。そこに神様が力も経済も健康も全て必要なものを加えて備えて与えられるものなのです。あってもなくても構わないのですが。

最後に一緒に言いましょうか。本当にこれはスタートなのです。私は幸い。私に何の問題もない。いつもこのスタートに立って神様に導かれて勝利することを祈りたいと思います。

祈り）

恵み深い天の父なる神様。絶望の問題を抱えて、どうにもならない私たちをあわれんで、神様ご自身がひとり子イエス・キリストの身代わりとして十字架に引き渡されて代わりに贖いの犠牲に並べることによって、全ての問題を解決され、それをプレゼントとして与えられましたことを感謝します。ただこのイエス・キリストの贖いの救いを問題の解決だと信じるだけで、問題が解決することを感謝します。問題解決に対してのいろいろな誤解を捨てて、イエス・キリストによってすでにとっくに今も後も問題がない存在としてスタートできるようにひとりひとりを励ましてください。聖霊様が光を照らしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。